

学校法人内田学園だより

～第参号～

平成29年4月28日
発行人 内田学園
内田文江
編集 編集委員会
発行所 厚木市七沢
433-1
電話 046-270-6123



『より確かな交流から連携をめざして！』

学校法人内田学園 理事長
(兼)七沢幼稚園長 小島富司

春は「別れ」と「出会い」の季節ですが、本学園においても「七沢幼稚園」と「七沢希望の丘初等学校」の幼児/児童の一人一人を大切に、手づくり感あふれた卒園(業)式及び入園(学)式を執り行うことができました。そのいずれもが儀式的な学園行事として教育計画に位置づけられ、子どもたちの幼稚園/初等学



七沢幼稚園卒業式にて
/H29年3月

校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わえるようにねらい付けされたものでした。さらには、新しい生活の展開への動機づけとなるような教育的活動を意図したものであり、幼初それぞれの校種に応じた物語(ドラマ)が繰り広げられ、感動的な名場面の連続でもありました。まずは、多くの関係の皆さま方へ厚く御礼申し上げる次第です。誠にありがとうございました。これも偏に、保護者の皆さま方を始め「ひまわり会」「エスポワール」「七沢幼稚園同窓会」や、内田学園役員並びに地域の教育福祉関係者や行政機関からの温かいご支援ご協力の賜物であると感謝せずにはおれません。

ところで、私たち内田学園では今、幼稚園と初等学校の年間を通した教育活動の連携場面を教育課程に位置づけようと、積極的に実践化を図り、より良い教育効果を高めようと、教職員一同がんばっております。つまり、七沢幼稚園から七沢希望の丘初等学校へ、子どもたちの幼児期から児童期への一貫性のある学校教育として意図的計画的な取り組みを重要視したものであるということです。特に、幼児/児童期の教育段階においては、全教育課程の中に幼初の連携を基盤とする教育活動の場面を創り出し、教育的効果を期待すること、正にこれからの内田学園のめざす学園像であると考えます。また一方、日々行われている幼稚園における「主体的な遊び」を中心とした指導と、初等学校における「教科等の学習」を中心とした指導との間にある「大きな段差」を滑らかにすることでもあります。そのための具体的な取り組み場面として、幼稚園の行事活動/初等学校の学校行事を中心とした「幼初連携」の教育活動を推進してまいります。

まずは、4月27日実施の「幼稚園砂運び」の実践活動を紹介しますと、次の通りです。これは、1年の始まりのこの時期に園庭の砂場に新しい砂を運び入れて、「みんなの幼稚園」(テーマ活動)づくりという「遊び」の環境条件を整える取り組みとなりました。幼稚園児を中心に初等学校児童と教職員も含めたみんなの関わりも、1年の幼稚園生活をスタートさせる意識づけとなり、これも一つの「環境」づくりとして欠かせません。また、初等学校の児童にとっては、幼稚園での勤労体験・奉仕活動に積極的に従事することで、働く喜び・役に立つ喜びを感じることができ、園児に接することを通じて、内田学園の一員としての自覚を持ち、協力してより良い学園を築き上げる「みんなの学校(学園)」(テーマ学習)の一環となっていきます。

これより、夏の「ファミリーフェスタ」や秋の「プレイデイ」、そして、冬の「クリスマス会」「風あげ」「七沢森の芸術祭」など、幼初連携場面は目白押しで展開してまいります。どうぞ大勢の皆さま方の積極的なご参加・ご参観をお待ち申し上げます。

目次

理事長挨拶 「より確かな交流から 連携をめざして！」	1
校長挨拶 「学校に望まれる 教育の変化」	2
幼初連携 「砂運び」	3
七沢幼稚園 「卒業式」 「入学式」	4
七沢希望の丘初等学校 「旅たち」 「新たな仲間を迎えて」	5
法人本部 「平成29年度内田学園 の体制について」 「ご寄付の報告」	6

『学校に望まれる教育の変化』

七沢希望の丘初等学校長 島根照夫



学校に通うと言うことは日常生活や学習のリズムの確立を言うことです。すなわち小学校段階の学習においては児童の学習規律の確立が重要です。社会の一員であるという責任感と学びの習慣づけが必要でしょう。学校に期待される役割の相対的な増大があります。家庭や社会地域で教育していた役割も担うようになってきました。それ故基本的な躰を受けないままに学校に入学してくる子どもがいます。そこでは保護者のニーズの多様化も現れています。保護者のニーズに応えるためにも説明が出来ないとだめでしょう。机上の学習にはないテーマ学習には、その解答が隠れています。なんとと言っても子ども同士の学び合いが非日常に行われるのではなく、日常的に行われることに意味があるのです。

テーマ学習は、児童の主體的・対話的で深い学びの実現に向けて、そのときどきの学びの実態や学習内容に対応した弾力的な時間割を組むことが必要になります。縦割りの、異学年のグループでの学びが繰り返し行われることに意味があります。前学年・前々学年での経験が生かされ、子どもの学びの質の醸成に繋がっています。そこには、学びの創意工夫の改善が常にあることを念頭に捕らえる必要もあるでしょう。

次に、このテーマ学習を幼初一貫教育の中で行おうとしています。幼初一貫教育を何のために、どのような目標の達成をめざして導入するのが学校・幼稚園に於いて明確にされることが求められます。実施上の工夫は、9年間のグランドデザインや幼稚園・学校の教育目標とどのようにリンクするか、どのように実現していくのかという発想で検討された上で取り組む事が望まれます。しかも、P・D・C・Aサイクルで取り組むのです。

ある時期を過ぎるとその後の学習が上達しなくなる限界のことを臨界期と言います。スズメは生後間もない一定期間にさえずりを覚えますが、親と隔離し、さえずりを学ぶ機会を逸してしまうと、そのスズメは学ぶことが出来なくなります。そして一生さえずりが出来なくなります。つまり、ある期間のうちに学ばなければならないことを逸したら一生身につかないというのが臨界期説なのです。この臨界期説に則ってカリキュラムを立てるのも幼初一貫教育の考え方の一つになります。内田学園で学ぶ子どもたちにとって今どんな力が必要なのか。今が旬の子どもたちにどのような関わりをしたらよいかを考えるとわくわくします。教育っておもしろいですね。



幼初連携

♪砂運び♪

4月27日(木) 心配したお天気も回復し、本年度初めての幼初連携行事「砂運び」を行いました!!



初等学校からお兄さん、お姉さんたちが砂運びにやってきました!!

青組さんがお金を払います。



そして砂を一気におろします。



園児・児童・そして園長先生も一緒にみんなで力を合わせて砂を運びます♪
こぼれた砂はみんなで集めました。



終わった後はみんなで蒸しパンをいただきました。

みんなで力を合わせてやり終えたぞ!
先輩も喜びをあらわします。



七沢幼稚園



『平成28年度卒業式』



今日僕たち私たちは無事に七沢幼稚園を卒業しました。
先生、お友達ありがとう。



「卒業おめでとうございます」
「どうもありがとう」
お花のプレゼントうれしかったね。



ありがとうございます、こんなに大きくなりました、また遊びに来ます、さようなら学園長先生。

『平成29年度入園式』



青組のお兄さん、お姉さんに手を引かれ少し緊張してる新しいお友達。



園長先生からピカピカのバッジをもらってうれしいね。
これからは七沢幼稚園の仲間入り、いっぱい遊ぼうね。

七沢希望の丘初等学校



<平成 28 年度の旅立ち>

今年で5回目の卒業証書授与式、希望の丘での6年間、楽しい日々も苦しい日々も全てを胸に、2名の旅立ちがありました。



「レゴマスターになる」
 将来の夢を語る
 「食品サンプル職人になる」



在校生から
 感謝の言葉を
 送りました



七沢が
 心のふるさとに
 なりますように

<平成 29 年度 新たな仲間を迎えて>

4月、進級、そして入学。8名の1年生が新たに丘を駆け巡り始めました。



おはようございます。こちらです。



大切な名前の書かれた名札つけを6年生が手伝います。



ようこそ希望の丘に！

法人本部

～平成29年度内田学園の体制について～

【内田学園】

理事長 小島富司、学園長 内田文江、事務長 及川朋子

【七沢幼稚園】

園長 小島 富司
副園長 仲 早百合
主任教諭 君田 直宏 (赤組担任)
教諭 西森 智美 (青組担任)
教諭 津田 優子 (ピンク組担任)
教諭 武井 侑子 (黄色組担任)
運転手 泉 博
事務主事 藤代真理子
非常勤講師 大島 和子 (母と子の庭)
非常勤講師 中村つや子 (わらべうた)
非常勤講師 井川美由紀 (リトミック)
非常勤講師 鶴岡 恵 (コーラス 幼初兼務)
非常勤講師 D a v i d (英語 幼初兼務)
非常勤講師 大野佐千代 (茶道 兼務)
栄養士 大野佐千代 (兼務)
調理員 三竹 瑛司

【七沢希望の丘初等学校】

校長 島根 照夫
教頭 大島三奈子
教務主任 牛島 晋治 (第3学年担任)
教諭 井手 隆太 (第1学年担任)
教諭 関口穰太郎 (第2学年担任)
教諭 小田島歩生 (第4学年担任)
教諭 池上 義之 (第5学年担任)
教諭 尾形 理 (第6学年担任)
養護教諭 金刺 李歩
技能員 西山えりか
学級担任補助 仲 早百合 (兼務)
非常勤講師 小島 富司 (図画工作 兼務)
非常勤講師 霜島 廣雄 (理科)
非常勤講師 D a v i d (外国語)
非常勤講師 E l B o r a i (外国語)
非常勤講師 L u n a (外国語)
非常勤講師 西山えりか (外国語 兼務)
栄養士 大野佐千代
調理員 三竹 瑛司 (兼務)
運転手 泉 博 (兼務)

『1年間宜しくお願いします。』

学校法人内田学園教職員一同

～ご寄付の報告～

社会福祉法人清琉会 (3回) 計 30,000 円

☆いただきましたご寄付は内田学園の教育に関わる事業に大切に使用させていただきます。
ありがとうございました。



七沢希望の丘初等学校竹叢のシヤガ
撮影 島根照夫

七沢幼稚園

住所:厚木市七沢590

TEL046-247-3175 FAX046-247-3139

七沢希望の丘初等学校

住所:厚木市七沢 433-1

TEL046-270-6123 FAX046-270-6122